［碁］を楽しむ

元八王子囲碁同好会　幹事 棚原英治

私が囲碁に出会ったのは、就職した会社の囲碁部でした。福利厚生が充実していて、文科系の中でも囲碁部を始め茶道部、華道部、ヨガ部等人気があり活発に活動していました。囲碁部員も 40 名くらいいて活動していましたが、仕事の都合で対局できない部員も多くいました。対局日は、週 2 回、就業後に部室に 5 名から 6 名いつも決まったメンバーが集まり時間を忘れて終電になるまで打っていました。年 2 回の社内大会、年末には、忘年会を兼ねて箱根の保養所で囲碁合宿を行い温泉浴、森林浴を楽しみました。

月 1 回、日本棋院からプロ棋士を招いて指導碁お願いしていました。9 子局で打ってもらいましたが、なかなか勝たせてくれませんでした。恵まれた環境の中で碁を打てたことは最高の喜びであり幸せでした。数年前に退職してからは、地元の碁会所で打っていました。碁仲間から元八王子囲碁同好会を紹介され、早速竹添会長に入会の希望を伝えると快く入会させていただきました。

毎週日曜日の例会の他、地区の活きいき大会、市民大会、こども囲碁教室、12 月の有志囲碁合宿に参加して多くの囲碁仲間、碁敵と楽しく碁を打つことができました。同好会の例会では対局前に勉強会をしています。どうすれば碁が強くなれるか、その上達方法はいろいろあると思います。

主に囲碁本を参考書に布石から詰碁、手筋の問題など取り入れ解説、また会員同士の打った棋譜を教材にして高段者の協力を得て大盤検討会もしています。実践の中から学ぶことが多く布石からヨセ、手筋，死活等指摘して棋力向上に努力しています。

強くなりたい気持ちは皆同じだとおもいます。囲碁は子ども、性別、年代を超えて対等に接するゲーム、良き仲間お互い切磋琢磨し、良きライバル碁敵は宝ものです。

(2020 年 8 月)